

第2章 恵庭市の現状

1 恵庭市の健康に関する概況

【市の健康に関する概況】

項目	全国			全道			恵庭市			
	人数	割合		人数	割合		人数	割合		
人口構成 令和2年国勢調査	総人口	126,146,099 人	100.0%	5,224,614 人	100.0%		70,331 人	100.0%		
	0～14歳	14,955,692 人	12.1%	555,804 人	10.8%		8,701 人	12.5%		
	15～64歳	72,922,764 人	59.2%	2,945,727 人	57.0%		41,413 人	59.3%		
	65歳～	35,335,805 人	28.7%	1,664,023 人	32.2%		19,673 人	28.2%		
	(再掲)75歳～	18,248,742 人	14.8%	848,273 人	16.4%		9,795 人	14.0%		
平均寿命 健康寿命(平均 自立期間)(注) (令和5年度国保 データベース)		平均寿命	健康寿命	不健康 期間	平均寿命	健康寿命	不健康 期間	平均寿命	健康寿命	不健康 期間
	男性	81.5歳	80.0歳	1.5年	80.7歳	79.3歳	1.4年	82.0歳	80.9歳	1.1年
	女性	87.6歳	84.3歳	3.3年	86.8歳	83.9歳	2.9年	88.2歳	85.6歳	2.6年
死亡(主な死因 年次推移分類) 令和3年度人口 動態統計	死亡原因	死亡原因	死亡率 (10万対)	死亡原因	死亡率 (10万対)	死亡原因	死亡率 (10万対)	死亡原因	死亡率 (10万対)	
	1位	悪性新生物	310.7	悪性新生物	391.2	悪性新生物	329.5			
	2位	心疾患	174.9	心疾患	191.2	心疾患	152.6			
	3位	老衰	123.8	老衰	111.2	脳血管疾患	75.6			
	4位	脳血管疾患	85.2	脳血管疾患	92.9	老衰	72.8			
	5位	肺炎	59.6	肺炎	66.7	肺炎	62.8			
出生 令和3年人口動態 統計(市出生率は推測値)	出生数	人口千対	811,622 人	6.4	28,762 人	5.5	464 人	6.6		
	低体重児出生数	出生千対	76,060 人	93.7	2,719 人	94.5	46 人	99.1		
早世予防からみ た死亡(64歳以 下) 令和3年人口動態統計	合計		125,187 人	8.7%	5,956 人	8.6%	61 人	8.1%		
	男性		82,832 人	11.2%	3,780 人	11.0%	39 人	10.0%		
	女性		42,355 人	6.0%	2,176 人	6.0%	22 人	6.1%		
介護保険 令和4年度介護保 険事業状況報告	要介護認定者		6,814,344 人	19.0%	343,807 人	20.6%	3,138 人	15.7%		
	1号認定者・1号被保険者		35,845,134 人	-	1,668,579 人	-	20,012 人	-		
	再:75歳以上		19,485,934 人	54.4%	891,568 人	53.4%	10,133 人	50.6%		
	再:65-74歳		16,359,200 人	45.6%	777,011 人	46.6%	9,879 人	49.4%		
	1号被保険者の介 護給付費(千円)	給付費	一人当り	9,804,213,018	274	421,975,855	253	4,023,257	201	
第9期保険料月額			6,014円		5,693円		4,800円			
後期高齢者医 療(令和5年度国 保データベース)		人数	加入率	人数	加入率	人数	加入率			
	被保険者		19,908,894 人	16.3%	903,397 人	17.5%	10,783 人	15.5%		
	1人当り医療費		72,549 円		82,710円		82,475円			

(注) 平均寿命…0歳時点から平均して何年生きられるのかを表した統計値

健康寿命…詳細P23参照

第4章 健康づくりの目標と取組

1 健康寿命の延伸

第3章「第3次計画の基本的な考え方」で示した4つの基本的な方向の中の「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」は、生活習慣の改善や社会環境の整備によって実現される最終的な目標となっています。

健康寿命^(注)とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことを言います。令和5年における恵庭市の健康寿命は、男性が80.9歳、女性が85.6歳で、平成29年から令和5年で男性が1.4歳、女性が1.0歳の延伸となっています。平均寿命は、男性が1.4歳、女性が0.9歳増加しており、健康寿命の増加分は平均寿命の増加分と同じ、または上回る結果となっています。

今後も健康寿命が延伸できるよう生活習慣病の予防や改善、社会環境の整備等による健康増進対策の充実によって平均寿命との差をできる限り縮小し、介護に頼らず長く健康に暮らすことを目指していきます。

【 目標 】

① 健康寿命の延伸

【 評価指標 】

項目	平成29年	現 状	令和18年度	参考(国=目標値)	出 典
①健康寿命の延伸	男性79.5歳 女性84.6歳	男性80.9歳 女性85.6歳 (令和5年)	現状維持	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 (令和14年度)	国保データベース(KDB)

【参考】平均寿命
(不健康期間)

平成29年	男性 80.6歳 (1.1年) 女性 87.3歳 (2.7年)	令和5年	男性 82.0歳 (1.1年) 女性 88.2歳 (2.6年)
-------	------------------------------------	------	------------------------------------

(注)健康寿命について

「健康寿命」には算出方法により下記の種類があります。本計画では市町村ごとに算出が可能な要介護度を用いた「日常生活動作が自立している期間の平均」を健康寿命の指標として用いることとします。

	対象集団	測定方法	特徴	不健康期間
日常生活に制限のない期間	国 都道府県	「あなたは現在健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」との質問に「ない」と答えた人を健康な状態とする。 *国民生活基礎調査より得られる	10000人以上の回答数が必要	全国: 男性8.49年 女性11.63年 (令和4年)
日常生活動作が自立している期間の平均	国 都道府県 市町村	要介護2~5を不健康な状態とし、それ以外を健康(自立)な状態とする *KDBより得られる	市町村単位で算出可能	全国: 男性1.5年 女性3.3年 (令和5年)